



# ファミサポ通信

第5号  
発行 2018.3

発行：DD ユニットファミリーサポート

【受託】NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室

TEL: 03-5803-4173 FAX: 03-5803-0412 e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

URL: [http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/project/family\\_support.html](http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/project/family_support.html)

## 新年度を迎えるにあたり

東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構  
DDユニット事業推進室長

平井 伸英

私たちが平成 27 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に採択されて 3 年が過ぎました。順天堂大学、株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所そして私たち東京医科歯科大学が連携して女性研究者支援を行うもので、単独の事業所では実現困難な課題の克服を目指した事業です。研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援の五つを柱として様々な活動を行ってきましたが、これまでに特許や論文などの多くの成果が得られており、本事業は内外から高い評価を得ることができました。我々が行ってきた、研究支援員配備や共同研究、産学連携の支援といった様々な活動の中でも特に高く評価されたのが、ファミリーサポートでした。この事業は NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロとの協力体制のもと行われてきたものですが、おかげさまで来年度以降も継続される運びとなりました。

育児支援は、女性研究者が子育てをしながら研究を継続できるよう手助けするものですが、一方で育児の負担を女性に強いる現在の社会状況の固定化を助長することにもなりかねません。地域と一体になった育児支援であるファミリーサポートは、単に育児の負担を肩代わりするだけでなく、女性研究者が抱える問題を地域社会と共有することで、性別のためにキャリアを制限されることのない、より自由な社会を作っていくための礎となり得るものだと考えています。本事業を通じて社会がより良いものとなっていくことを願っています。

## 住民主体の子育て支援 ～温かい心でサポートする～

受託先：NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長

小俣 みどり

1998 年 1 月住民参加型の子育て支援団体として発足した当団体の活動は、21 年目になります。子育て家庭に対して「困った時はすぐ手を差し伸べる」「預かる理由は問わない」の 2 つの方針をかかげ活動をスタートさせました。この長年の活動実績を、DD ユニットファミリーサポートの活動に活かすことができ、光栄に思います。仕事と家庭の両立は社会の制度が進んでいく中でもまだまだ課題が山積ですが、今後も子どもを真ん中にして、家族と支援者が手をつなぎ、関係者のみなさんに橋渡しをしながら温かい心でサポートしていきます。また、命を預かるという事を真摯に受け止め、研修にも力を入れていきます。

# 第1回 全体交流会「リコーダーとギターのアンサンブル」

2017年11月25日、DDユニットファミリーサポート提供会員・依頼会員・その子どもを対象とした、全体交流会を開催しました。提供会員14名、依頼会員4名、子ども8名、活動に興味のある地域の方2名、ピッコロ職員1名、東京医科歯科大学職員2名、計31名の参加がありました。

冒頭では、参加者全員の自己紹介がなされ、お互いを知る貴重な機会となりました。次に、全国で活躍されている、リコーダー奏者松浦孝成氏、有田まり子氏、ギター奏者の畑内浩氏によりアニメからバロックまで幅広いジャンルの曲が演奏され、続いてリコーダーの歴史をご紹介いただきました。目の前で奏でられる豊かな音色と松浦氏の楽しい話に大人から子どもまで魅了され、会は大好評のうちに終わりました。



## ◆参加者からのコメント◆

- ・恥ずかしいけど、みんなの前でお名前を言えたよ！
- ・松浦先生の話では、むかしイギリスでは鳥の鳴き方を教えるための練習曲があったんだって！  
どんなふうに鳴いてたのかなー。聞きたいなー。

提供会員さんのユーモアたっぷりの楽しい自己紹介♪

## 保育サービス講習会(第5期)

平成30年1月22日～2月26日にかけて全8日間にわたり保育サービス講習会(第5期)を開催しました。



地域の掲示やWebを通じて、また会員からの紹介等様々なきっかけで受講された皆さん。子育て支援活動への意欲あふれる仲間との会話に、お互いが刺激を受け合いました。寒い雪や雨の中、遠方からご参加くださりありがとうございました！

今回残念ながら修了できなかった皆さん、補講が終わりましたら登録にいらしてください。お待ちしております。



話し合いの約束：相手の話を否定しないで最後まで聞く。自分の答えに固執せず、視野を広く考えるトレーニングをします。また、受け入れられている充足感を自ら実感することにより、相手に寄り添う姿勢を学びます。



#### ◆受講生のアンケートから◆

- ・自分が子育てをしていた頃と、現状・社会が変化していることを改めて感じました。女性の社会進出も進み、核家族も多く孤立している家庭が増え、DDユニットファミリーサポートのような支援が大切だと感じました。
- ・自分の価値観だけでなく、様々なお母さんの価値観を大切にしながら子どもたちと触れ合うことが出来ればよいなと思いました。サポーターの意味・大切さを考えさせるととても良い講義でした。

## 平成29年度第2回 スキルアップ研修会

実施日時：平成30年3月8日（木）13:30～16:30 東京医科歯科大学 M&D タワー 1 1F 大学院講義室 3

参加者：提供会員 9名

テーマ：安全・安心なファミリーサポートのために

講師：NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ 理事長 小俣みどり氏

### ファミリーサポートの活動では「お子さんの安全を確保すること」が最優先事項です。

今回の研修会ではファミリーサポートの活動において「お子さんの安全を確保するため」のリスクマネジメントを学びました。リスクマネジメントの第一歩として活動中の「不確かさ」を洗い出し、それを排除することが必要であることを学びました。参加者は闊達に意見交換を行いました。各自のこれまでのサポートの経験の中から「不確かなこと」を具体的に見つけ出し、グループでまとめ、解決策を探り、学びを深めることができました。

### ※提供会員の皆さん、ヒヤリ・ハット報告の提出をお願いします。

例えば、お子さんの支度に思いのほか時間がかかり習い事への送りがギリギリになってしまった。お子さんの保育園バッグに自宅の鍵がついていなかった。サポートに行ったらおやつを用意がなかった。等



#### ◆受講生のアンケートから◆

- ・慣れによる甘えは、重大な事故を招くと思いました。
- ・今回参加して年齢・性別も異なる様々なお預かりの話が聞けて勉強になりました。ささいなこと→大きな困ったことになりかねないことを心して保育にあたりたいと思いました。
- ・思わぬことは事前打ち合わせに出ていないこともあり、その状況に臨機応変に対応しつつ、一人で悩まず、依頼会員・アドバイザーに連絡して安全確保に努めるようにしたいです。
- ・他の方の体験を伺うことがとても勉強になりました。事前打ち合わせと当日の連絡が大切だということがよくわかりました。ボランティアとしての立場と、子どもの安全を守るという立場をうまくバランスをとって考えられるようにしたいと思います。

●登録には  
登録には一切費用はかかり  
ません。また会費もありません。  
所定の会員登録書に記入捺  
印の上、提出してください。

## DDユニットファミリーサポート (事務局) アドバイザーが常駐しています。 受付9:00~17:00(平日)

●援助できる活動  
(1)一時預かり保育  
(2)病児・病後児保育  
(3)お泊り保育



### ●依頼会員とは

連携機関に在籍する教職員及び大学院生で、子育て支援を必要としている方。育児休業中でも利用できます。

### ●援助活動中に

万が一の事故・傷害に備えて、保険に加入します。保険料はDDユニットファミリーサポートで全額負担します。

### ●提供会員とは

子育て支援をしたい地域の方や連携機関関係者で、20歳以上の健康で子ども好きな方。保育サービス講習会を受講し、一般財団法人女性労働協会発行の修了証を授与された方がサービスを提供します。



## 平成 29 年度活動実績件数

活動内容	合計(件)
保育園・幼稚園の登園前の預かりと送り	1
保育園・幼稚園の迎え	3
保育園・幼稚園の迎えと帰宅後の預かり	56
保育園等の入所前の預かり	41
登校前の預かりと送り	1
子どもの習い事・塾等の送迎	104
下校後の預かり	4
学校から学童保育への送り	0
保育園・幼稚園・学校等のお休み時の預かり	23
保護者の外出時(冠婚葬祭・リフレッシュ等)の預かり	10
	243

## 会員総数

会員総数(人)	124
提供会員	81
依頼会員	43

平成30年2月末日現在

### お願い!(重要)

入会登録時の記入内容が変更になった時はファミリーサポートまでご連絡ください。

#### 【例えば】

- ・住所変更
- ・保育施設の変更
- ・提供会員の皆さんのサポートできる曜日や時間等



### 編集後記

2年4ヶ月の間、立ち上げのはじめの一步から今日に至るまで、皆さまには大変お世話になりました。

依頼会員さんに対しては、自分の妹を応援する気持ちでございました。人生経験豊かな提供会員さんからは、様々なことを教えていただきました。そして事前打ち合わせの時つないだ、子ども達の小さい手のぬくもりは忘れられません。可愛かったなあ。

4月から新しいアドバイザーにバトンタッチします!頼もしいアドバイザーに安心してご相談くださいね。

お子さんの健やかなご成長と会員の皆さんの幸せとDDユニットファミリーサポートの益々の発展を心から祈っております。

アドバイザー 山下 茂子

あっという間の2年4ヶ月でした。スタート時は地域にDDユニットを認知して欲しいと山下と二人であちこち歩いて、ポスターやチラシをお願いしました。講座は内容も講師の先生も素晴らしいですから、私たちは一人でも多くの方に参加を願い、人脈をたどり電話をかけました。皆さまのおかげで活動は順調に伸び、学内外の評価も高く、次年度は利用対象者が拡大されるようです。この様な状態で次の方に引き継ぐことが出来たことに感謝しています。ファミサポの活動が会員の皆様と共に、より良く成長していくことを願っています。

サブアドバイザー 池田 いづみ

## DDユニットファミリーサポート 受付時間 月~金 9:00~17:00

〒113-8510 文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室

e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

■TEL: 03-5803-4173 ■FAX: 03-5803-0412

外出中・休日・時間外は留守番電話になっていますので、メッセージを残してください。